地域支援コラム

　D 小学校より、令和 4 年度に引き続き、短指症の児童のリコーダー指導に関する依頼がありました。

　久しぶりのリコーダー演奏であることから、まずは片手で演奏できる音から練習を行いました。始めてみると思い出したようで、スムーズな演奏を聞かせてくれました。右手を上に持つ形に仮調整された改造リコーダーで、低い音も問題なく演奏できていたことから、一番低い音を出す部分以外の部品の固定を行いました。

　サミングも問題なく行えており、きれいな音で演奏できていることを伝えると、あとは繰り返し練習することだと、意欲的な様子が伺えました。